

こたえ かちかち山

はってん
発展 ①

かちかち山

(日本のむかし話)

むかし、いたずらばかりするたぬきがいました。たぬきは、おじいさんとおばあさんをひどい目にあわせました。

それを聞いたうさぎは、たぬきをこらしめようと考えました。

うさぎは、たぬきにしばをせおわせて山へ行き、うしろから火うち石で「かちかち」と火をつけました。

「かちかちという音は何だい。」

「ここは、かちかち山だからさ。」

さいごに、うさぎは木の船、たぬきは土の船にのって、海へこぎ出しました。土の船は、だんだんとけて、しずんでしまいました。

1 うさぎは、何のためにたぬきを山へつれていったのですか。

ア いっしょにあそぶため。

イ たぬきをこらしめるため。

ウ しばを売るため。

2 うさぎは、何で火をつけましたか。

火
う
ち
石

3 うさぎが「かちかち山だからさ」と答えたのは、どうしてでしょう。

火をつけていることを、たぬきに気づかれないようにするため。

4 たぬきがのったのは、何の船ですか。

土
の
船

5 土の船は、どうなりましたか。

だんだんとけて、しずんでしまった。

おうちの方へ

- 3は「ごまかすため」「ばれないようにするため」なども正解です。